

東京都指定 2 次救急医療機関
(財) 日本医療機能評価機構 認定病院
人間ドック・健診施設機能評価認定
日本外科学会外科専門医制度関連施設
機能強化型在宅支援療養病院

2019. 2 334



Suzuki Health Tomorrow



医療法人

浩生会スズキ病院

〒176-0006 東京都練馬区栄町 7-1 TEL 03-3557-2001

<http://www.suzuki-hospi.or.jp>



(院内研究発表会より)

職員の災害に対する危機管理の意識調査とその課題

「災害支援病院として機能するために」

防災委員 今村 鈴木 鈴木 黒崎

はじめに

近年、地震や豪雨・豪雪などが発生し大きな被害をもたらしたことが記憶に新しい。また、政府の地震調査委員会が南海トラフの巨大地震が今後 30 年以内に起きる確率を 80% と公表した。

このような自然災害は発生を防ぐことはできないが、被害を減らすことは可能であり、病院全体で防災や減災に取り組んでいくことが必要であると考えます。

当院は災害時には災害支援病院としての役割を担うことになっているが、防災委員は選任されているものの、現状、看護部 3 名と事務部 1 名でしか行えていない。マニュアルの見直しはされておらず、年 2 回の防災・消防訓練も行っているが、評価などは行っていない。また、訓練への参加状況にも懸念があり、非常勤者が在籍する部署もある。このような状況で職員が災害時に行動できるのか、意識調査し課題を見い出していく。

目的

職員の災害への危機管理の意識調査を行い、結果から課題を見出し、練馬区の災害支援病院の役割を担えるように準備していく。

方法

- 1、対象者：全従事者
- 2、アンケート調査・集計
- 3、期間：平成 30 年 8 月から 9 月

結果

- ①アンケートは全職員 119 名に配布し回収率 71.4%であり、従事者区分は常勤 62 名 (73%) 非常勤 11 名 (12.9%) 委託業者 5 名 (5.9%) であった。
- ②「災害への不安はあるか」の問いに対して、有と答えた方は職員全体で 76 名 (89.4%)。
- ③大規模災害の体験の有無では、職員全体では 18 人 (21.2%) が体験している。
- ④災害時の登院については、全体では「必ず来れる」10 名 (11.8%)、「来れない」22 名 (25.9%)、「家族の安否確認後なら来れる」43 名 (50.6%)。
部署別では「必ず来れる」は診療部 2 名 (66.7%)、看護部 5 名 (14.3%)、診療支援部 0 名 (0%)、事務部 1 名 (5.3%)
- ⑤消火器・消火栓の使用方法については、「完璧」6 名 (7.1%)、「消火器なら」47 名 (55.3%)、「消火栓なら」1 名 (1.2%)、「何となくなら」24 名 (28.2%)、「まったく分からない」5 名 (5.9%)。
- ⑥消火器を使用したことはあるかについては、「ある」が 64 名 (75.3%)、「なし」が 20

名(23.5%)。

⑦消火栓を使用したことがあるについては、「ある」28名(32.9%)、「なし」57名(67.1%)。

⑧スプリンクラーのバルブの位置は、「全て把握」4名(4.6%)、「担当部署なら把握」17名(20%)、「何となくは分かるが、自信が無い」27名(31.8%)、「全く分からない」27名(31.8%)。

⑨避難袋の位置・ダイヤル番号については、「把握している」2名(2.4%)、「位置が不明」1名(1.5%)、「パスワードが不明」22名(25.8%)、「まったくわからない」58名(68.2%)。

⑩災害のオリエンテーションを受けたかについては、「受けた」28名(32.9%)
「受けていない」49名(57.6%)。

部署別の「受けた」については、診療部2名(66.7%)、看護部10名(28.6%)、診療支援部2名(25.0%)、事務部7名(36.8%)。

⑪トリアージタグの正解率は「全問正解」64名(75.3%)。

⑫医療救護所の正解率は「旭丘中学校」10.6%、「開進第三中学校」35.3%。

考察

近年地震などの災害による被害もあり、災害に対しての不安は高くなっていると思われる。しかし、施設の設備や器具の使用法の理解が低いことは、オリエンテーションを受けていない者が半数以上いることも要因であり、不安が高いのに対し、理解が低いということは、危機管理に関する課題であると考えられる。

また、災害時にすぐ登院できるものが全体で11.8%しかいないことは、マンパワー不足になることが明白であり、大規模災害の体験も少なく、マンパワーが無い状況下で、さらに設備が分からない、機器が使用できないなどでは、災害支援病院の役割は機能しないと考える。

はじめにも述べたが、災害発生を防ぐことはできない。しかし、被害を最小限にすることはできるため、対策をとる必要がある。

全体で登院できる11.8%と答えた者も必ず登院できるとは限らないため、小人数で行動できるようにしていく必要がある、マニュアルの見直しや教育・訓練を行わなければならない。そのためには病院全体で取り組む必要がある。

今回のアンケートは回収率が71.4%であり、研究結果としては正確性に欠ける部分があると思われるが、アンケート未提出者が多いことも、危機管理が低い表れだと考える。

今後の課題

①現状防災委員が看護部と事務部で活動しているが、各部署から選任されているため委員会を充実させていく必要がある。

②各部署から集まった委員会で年間計画を立案し、訓練・教育を充実させるとともに評価することが必要。

③小人数で対応できるようにマニュアルを見直し、評価を行っていく。

④全職員が防災に対し同じ意識を持ち、災害対策の向上に努めていくことが必要。

リハビリ便り

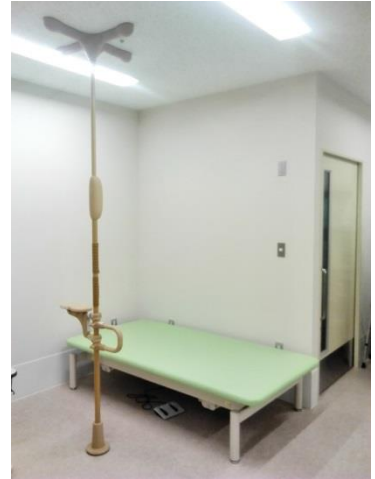
福祉用具 その2

理学療法士 栗林海勇 (あわばやしみゆう)

今回も前回に引き続き福祉用具についてご紹介させて頂きたいと思います。

④ベストポジションバー

上下に伸びる棒を天井と床の高さに合わせレバーを操作するだけで設置できるため自宅でも容易に設置することができます。天井と床とで大きな面積で固定されているため、安定性が高く、立ち座りのサポートはもちろん、高さの調節も自由自在なためどんな方にも合わせることが可能です。



⑤床置きタイプの手すり

床に布団を敷いて寝ている方が起き上がる際にサポートすることが可能となります。リハビリ室にあるものはシンプルなタイプのものですが、上り框や長い廊下などに対応したタイプもあり置くだけで生活範囲が広がる手すりです。



⑥バスボード

入浴の際に役立つ福祉用具です。写真のように浴槽に設置し、腰掛けて跨ぐことで安全に浴槽に入ることが可能となります。足を引っかけて転倒するようなリスクを減らすことができます。



⑦サンディングボード

グリップがついている台でスライドさせることによって、上肢・体幹の関節可動性を向上させます。また、上肢の筋力はもちろん腹筋や背筋といった体幹の筋力トレーニングが可能です。



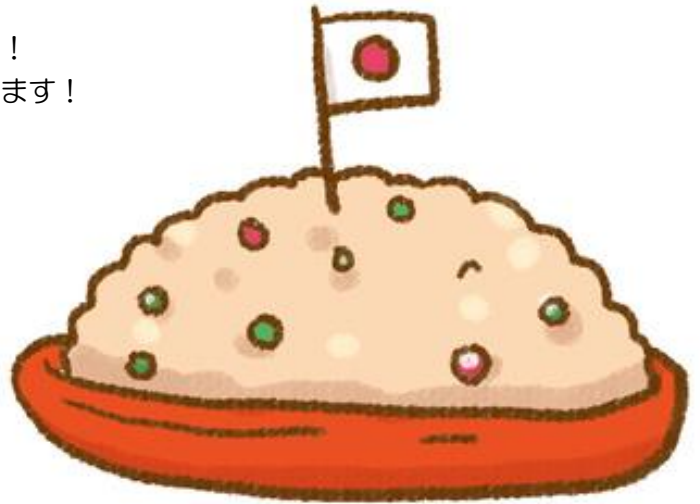
当院リハビリ科では、今回ご紹介させていただいたような福祉用具を活用し、入院患者様や地域の皆様の今後を見据え、生活範囲を広げ生き生きと安全に生活できるようサポートしています。

「あさりピラフ」

貝類のおいしい時期がやってきました！
簡単アレンジもできるピラフを紹介します！

《材料》（3人分）

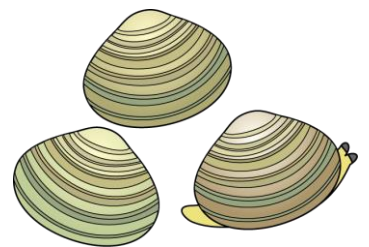
- ・米 …2合
- ・あさり …1パック
- ・玉ねぎ …1/2個
- ・人参 …1/3本
- ・コンソメキューブ …1個
- ・バター …大さじ1
- ・塩コショウ …適量
- ・にんにくチューブ …適量
- ・水 …360cc



(1人当たり約210kcal)

《手順》

1. 玉ねぎと人参をみじん切りにし、フライパンでバター・にんにくと一緒に炒めます。
バターがなじんできたらあさりを入れ、塩コショウで味を付けながら炒めます。
2. 洗ったお米の水をざる等で切り、手順1のものと炒め合わせます。
お米が透き通ってきたら、炊飯釜にすべて移します。
3. 水360cc、塩、コンソメキューブ（手で崩しながら）を入れます。
4. 炊飯スイッチを押し、炊けたら完成です。
味が薄い場合は塩コショウで整えましょう。



★ポイント★

- ・貝を剥くのが面倒な場合は剥き身のものを購入しましょう！
- ・具はご自由に追加してください！エビ、イカ、枝豆やグリーンピースも定番ですね！
- ・にんにくは入れなくてもOK！しょうがチューブでも相性ばっちり！



患者さんの権利

- 平等で、質が保護された最善の医療を差別なく、継続して受ける権利
- 医師や病院の選択の自由と、セカンドオピニオンを受ける権利
- 診断・治療に関する情報を得て、同意または拒否する自己決定権
 - ・意識喪失患者は、家族または法廷代理人の同意が必要（緊急時は例外）
 - ・法的無能力者も、家族または法廷代理人による本人の意思決定への参加
 - ・患者さんの意思に反する処置、治療は法の許容範囲内で例外的に実施
- 十分に説明を受ける権利と共に、知らされない権利
- 医療に関する秘密が保持され、個人情報保護される権利
- 予防・早期発見と医療を選択する権利と自己責任
- 尊厳を尊重し、苦痛のない人間的な終末期ケアを受ける権利
- 聖職者による霊的・倫理慰安などの宗教的支援を受ける権利



浩生会スズキ病院理念

1. 私たちは、練馬区の中核病院として地域医療に貢献することの責務を自覚し、安全良質・高度な医療を行ないます。
2. 私たちは、愛と和の精神をもって、暖かく思いやりのある医療人であることに努めます。
3. 私たちは、進取な心構えで自己研鑽に務め持てる能力を最大限に発揮すべく努力をしていきます。

浩生会スズキ病院の基本方針

1. 私たちは、患者さまのプライバシーを守り、意思と権利と安全を尊重した医療を実施します。
2. 私たちは、自己研鑽に努め、最新の医療知識と技術に基づいた医療を提供します。
3. 私たちは、地域の人々や他の医療機関、福祉・介護機関と共に医療・介護と福祉のネットワークを進め、腹部2次救急、消化器外科・悪性腫瘍の専門治療、急性期高齢者医療を実施し、地域医療に貢献します。



診療科目・診療担当者表

平成 30 年 11 月 1 日 改訂

		月	火	水	木	金	土
午前	内科	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)
	糖尿病内科	澗潟					
	消化器外科・外科	病院長	病院長	病院長	病院長	病院長	病院長
			平野		菅	新井田	
	循環器内科	佐藤(直)☆		鈴木(臣)☆	福田☆		
	呼吸器内科			加藤☆			加藤☆
	整形外科		坂本				
	訪問診療	鈴木(小)	古川	町田	鈴木(小)		
リハビリ		植田		植田			
午後	内科	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)
	消化器外科・外科		平野		菅		平野
	整形外科(2:30~)		坂本		加藤英		坂本
	呼吸器内科						第2週休診
	泌尿器科	宇井					Pm2:00 ~
	訪問診療	鈴木(小)	古川	町田	鈴木(小)	鈴木(小)	鈴木(臣)
	リハビリ		植田		植田		

※ 診療日：月～土曜日 休診日：日祝祭日。(急患の方は、24 時間受付しております。)

※ 診療受付時間：8：30～11：30、13：00～16：30

※ ☆：予約制です。

